

# アビリンピックやまがた（山形県障害者技能競技大会）

〈 製品パッキング 〉 公表課題

## 1. 課題

競技課題 1 緩衝材の組立・結束 【15セット(3束)／20分】

競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包 【2梱包(2箱)／40分】

※ 競技課題1の緩衝材(完成品)は、競技課題2で使用します。

※ 競技課題2の中箱・化粧箱身・化粧箱蓋はカットのみの材料となります。

## 2. 実施内容及び実施手順

(1) 競技課題ごとに競技の説明を行う。その後競技を始める。

(2) 各競技は、詳細説明図のとおり。

※ 詳細説明図は折り方の一例であり、ほかの折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ審査減点対象にはならない。

(3) 競技部材準備では各部材の数量確認と各部材のレイアウトを決めること。

## 3. 注意点

(1) 競技の際は、必ず手袋を着用する事。

※ 手袋は各自で準備する事(2双)

## 4. 実施時間

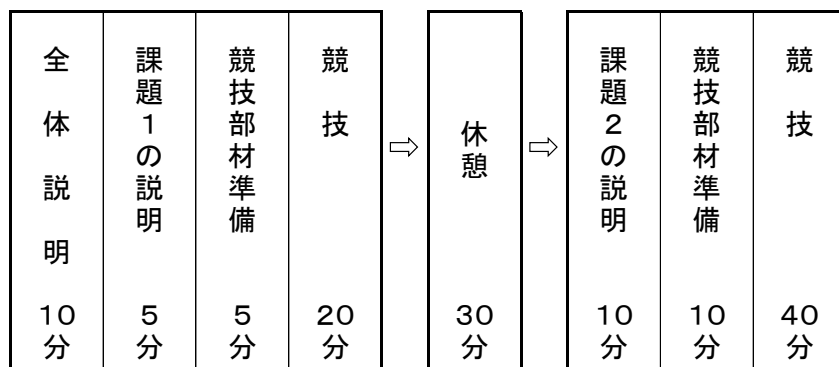
全体説明：10分、 各競技課題の説明：10分、

競技課題 1：20分、 競技課題 2：40分

競技間の休憩：20分

※ 競技全体で130分の予定です。

※ 競技当日は練習は行いません。



▶ 競技の流れ

## 5. 競技審査のポイント

### 競技課題 1 緩衝材の組立・結束

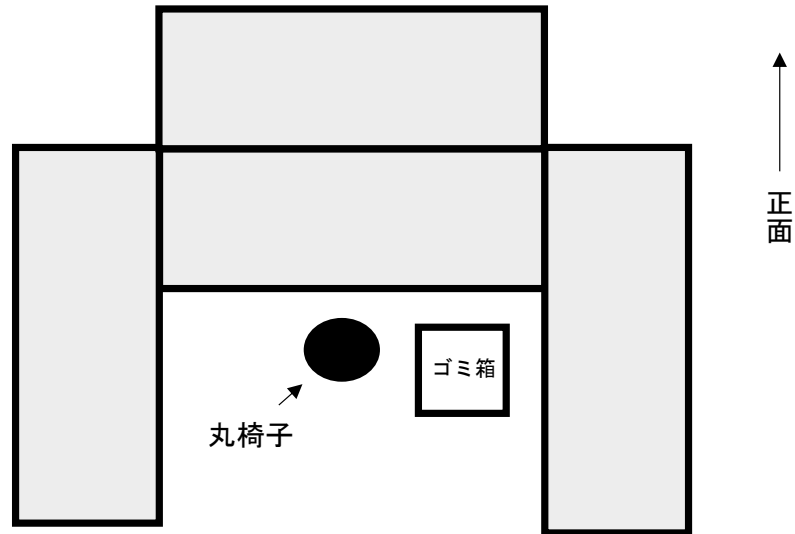
- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 製品の向きは正しいか。
  - ※○・△の向きが外側になっているか
  - ※端の製品が向かいあわせになっているか
  - ※○・△が5個ずつ混入せずに同一方向に揃えているか
- ③ 正しく結束されているか。
  - ※8cm以内の結び目で、容易に解く事ができる結び方か
  - ※緩衝材の端から10cm以内の位置に結束されているか
  - ※紐を持ち上げたときに、紐と製品の間隔が5cm以内か
- ④ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。

### 競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。
  - ※緩衝材の○・△の向きが外側に設置されているか
  - ※緩衝材A・Bそれぞれ2ヶずつ設置されているか
  - ※化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか
  - ※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか
  - ※中箱を開けた時に、小箱の底部が見えないか
- ③ 包装テープの止め方はきれいか。課題通りか。
- ④ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。
- ⑤ 完成品は敷紙の上にはみださないように設置されているか。

## 6. 競技レイアウト

- ・机は計4台使用しコの字に設置
  - ・材料は机上に準備し、競技部材準備の時間に選手自らが各部材のレイアウトを決め設置する。
- その際、競技課題2で使用する外箱のみ机に立てかけても良いが他の材料は机上に限定する。

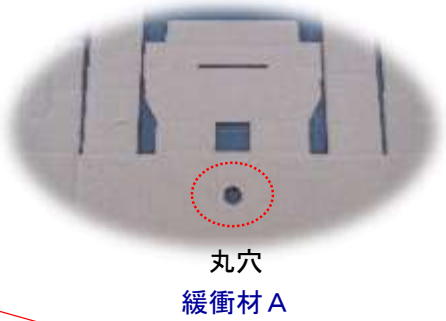
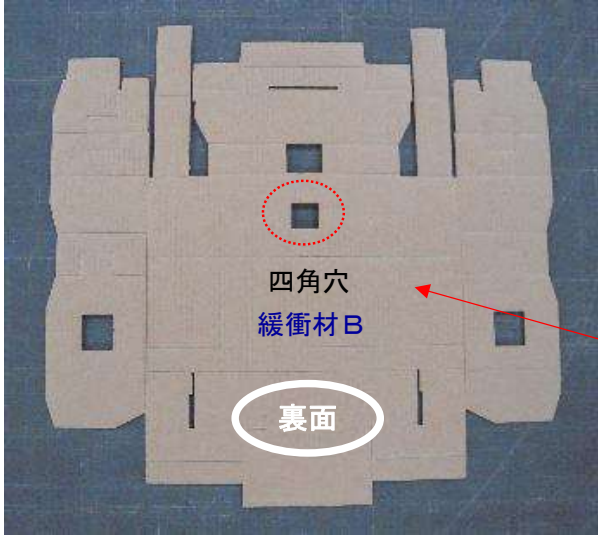


## 7. 会場に準備されているもの(選手1人当たりの支給材料)

	材料名	数量	単位	備考
競技用材料	外箱	2	枚	
	小箱	8	枚	
	中箱	8	枚	
	化粧箱 身	8	枚	
	化粧箱 蓋	8	枚	
	緩衝材A	15	枚	
	緩衝材B	15	枚	
資材	結束紐	1	巻	
	くちばし型カッター	1	本	
	包装用テープ	1	巻	※テープカッター付き
	製品敷紙	1	枚	※課題2で完成品を置く際に使用します

きょうぎ かだい 【競技課題 1】 かんしょうざい くみたて けっそく 緩衝材の組立・結束

てん かい ず 図 展開図



※緩衝材は2種類あります

※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

かん せい ず 図 完成図

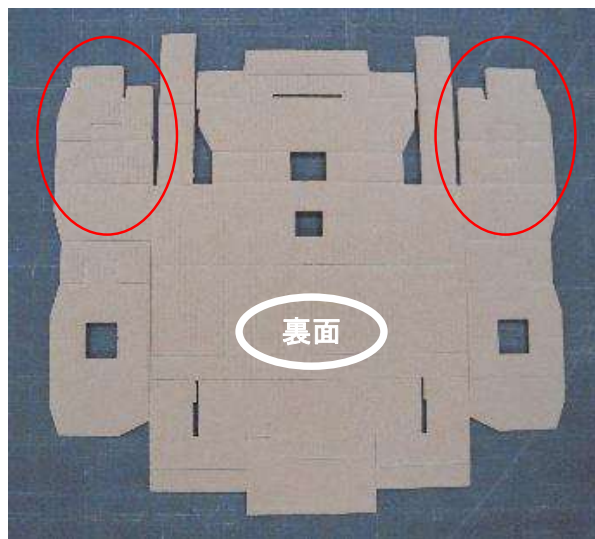


組立完成図

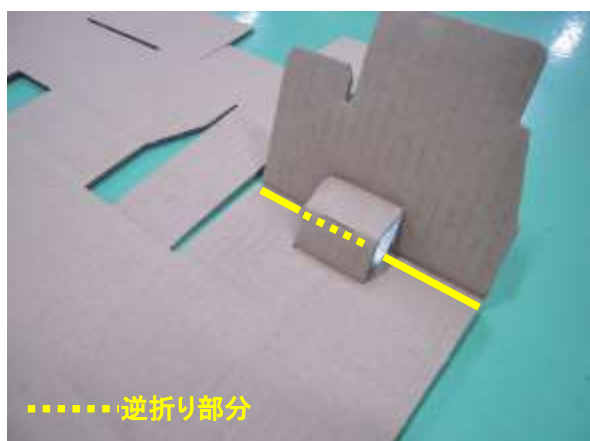


結束完成図

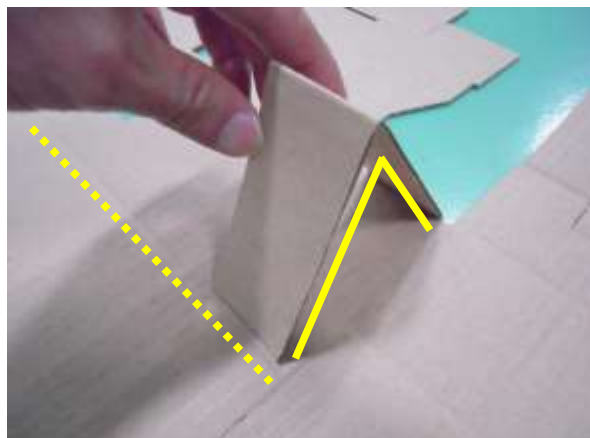
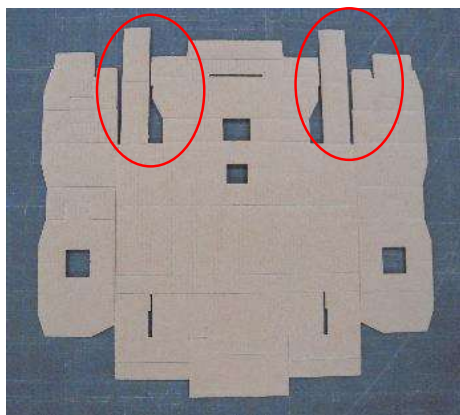
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な折り方は共通です。(写真は緩衝材B)  
 緩衝材の裏面を上にし折ります。  
 最初に○印の箇所から折ります。



2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



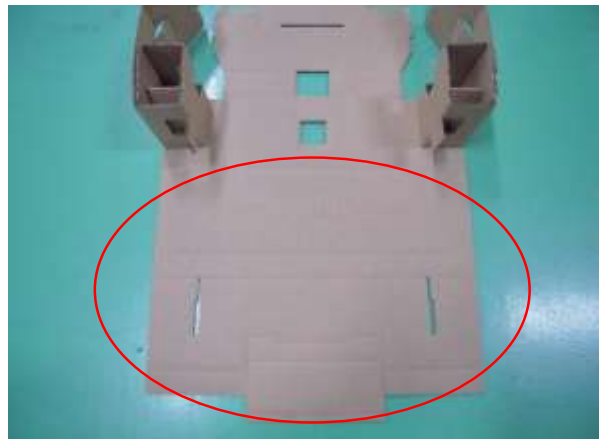
3. ○部を点線部分の罫線に合わせて折り込み三角をつくる。



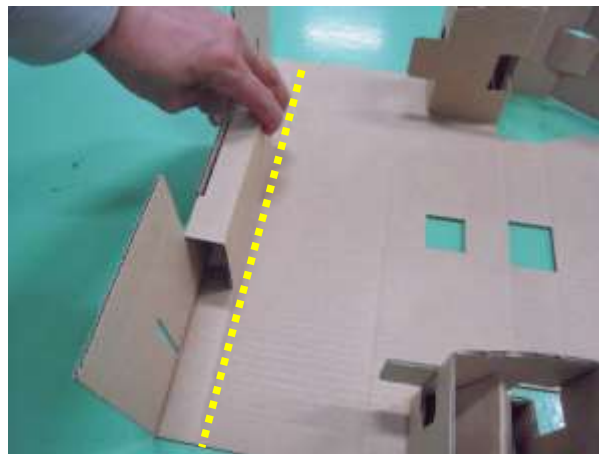
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



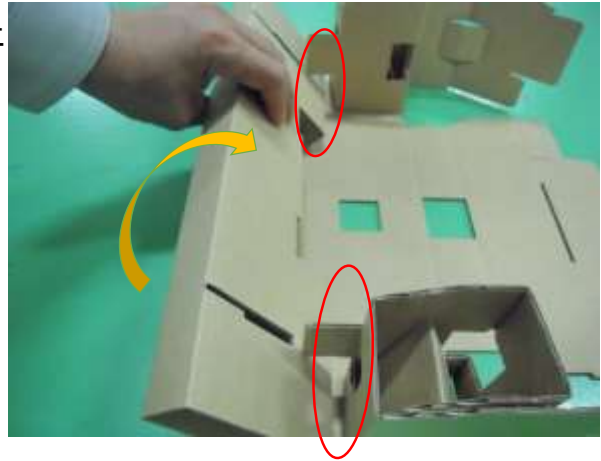
5. ○で囲んだ部分を折ります。



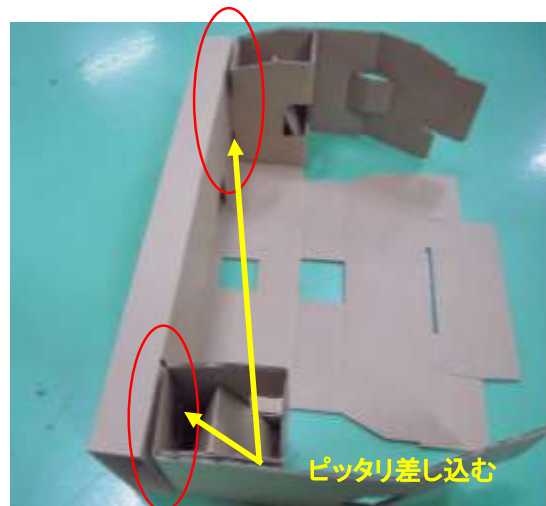
6. 中心部を点線部の罫線に合わせて折ります。



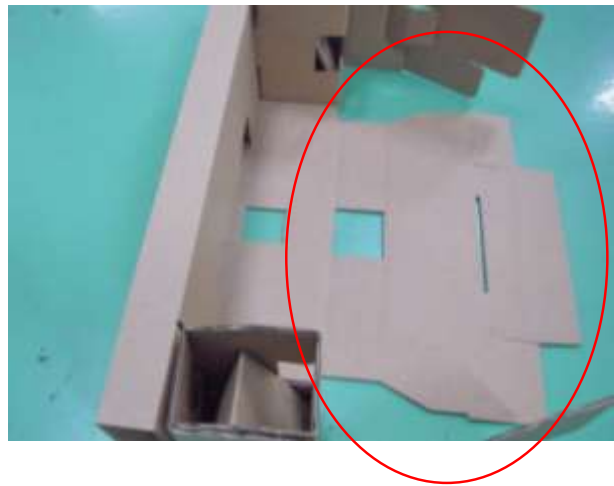
7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。



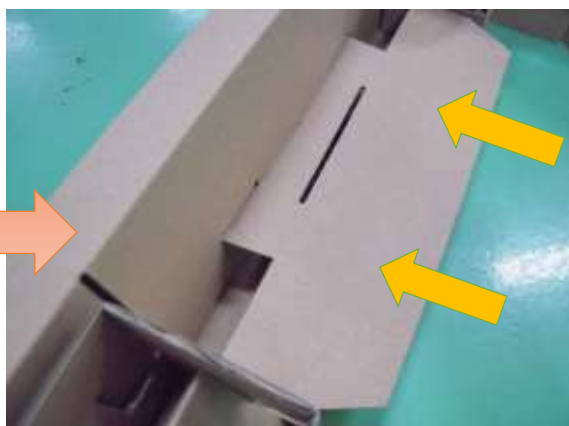
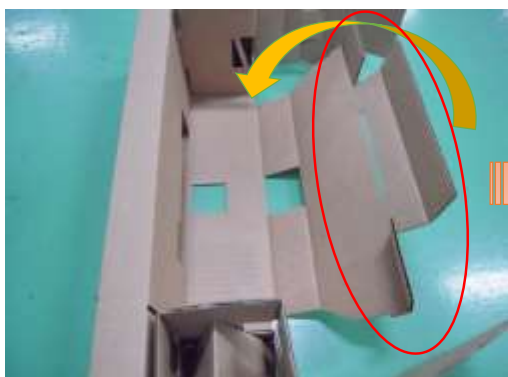
8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。



9. ○で囲んだ部分を折ります。



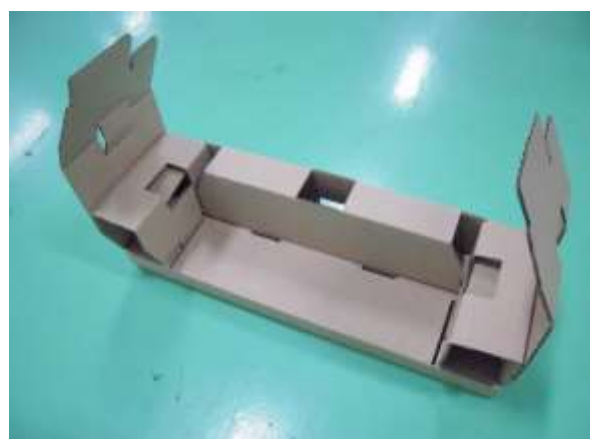
10. 先端部3か所を折りながら矢印方向におこ  
折り込む。



11. 全体を折り込み、本体にピッタリと  
おこ  
押し込む。



12. 袖部が上にくるように向きを変える。

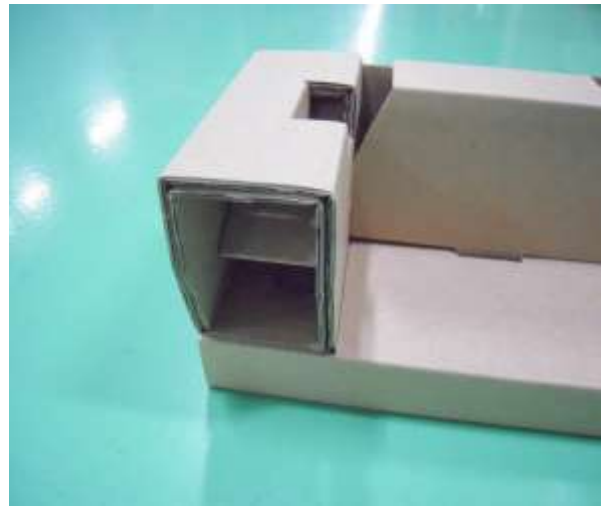




13. 袖部を罫線に合わせて折り込み、先端部を本体に差し込む。



14. 反対側も同様に、本体に差し込む。



15. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させる。



16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



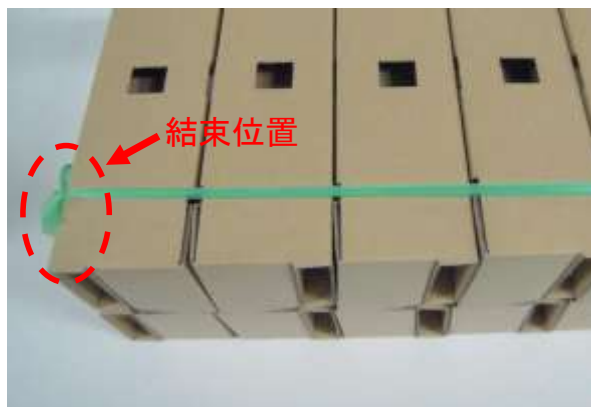
17. 設置した結束紐の上に緩衝材5ヶを  
結束紐が端側位置にくるように置く。  
置く際は○口穴が下にくるように置く。



18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材  
(○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を  
5ヶ、穴が上にくるように置く。



19. 緩衝材の端から15cm以内の角で  
結束する。結び方は自由。  
ただし、10cm以内の結び目で容易に  
解く事が可能な結び方にする。  
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の  
間隔が8cm以内になるようにする。
- ※課題2では、自ら作成した製品の  
紐を解いて使用します。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の  
端にくるように設置する。



21. 緩衝材の角で結束し完成。



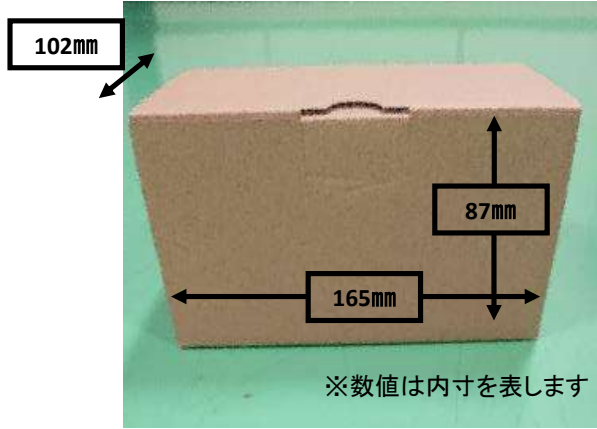
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・  
外箱の組立・セットアップ梱包（1）

小箱展開図



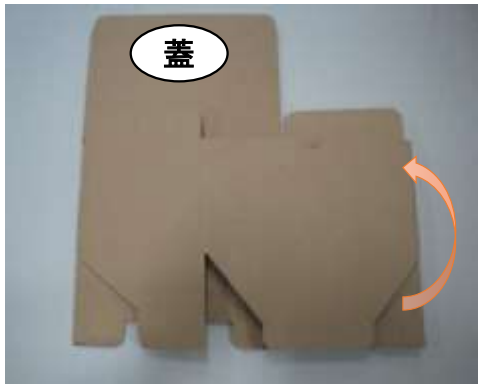
※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

小箱完成図



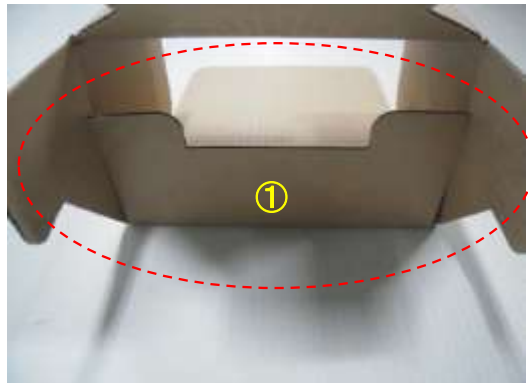
※数値は内寸を表します

1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。

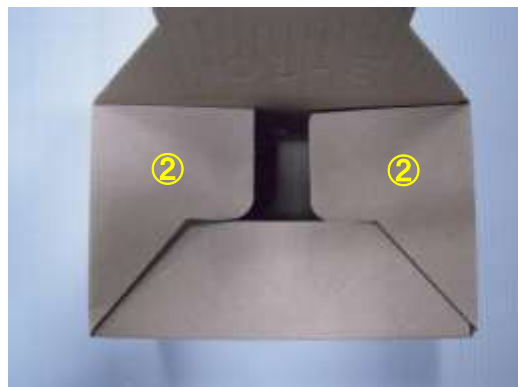


本体を立ち上げた状態

2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



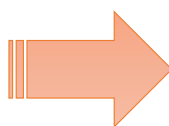
3. ②のフラップ2か所を内側に折る。  
しよ うちがわ お



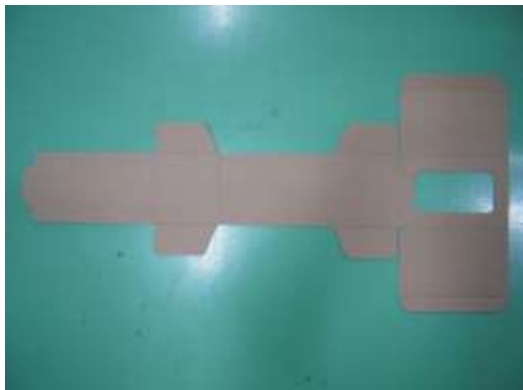
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。  
うちがわ お こ そご かんせい



5. 内フラップ2か所を内側に折り  
最後に蓋をし完成。  
うち しよ うちがわ お  
さいご ふた かんせい



なか はこ てん かい ず  
中 箱 展 開 図

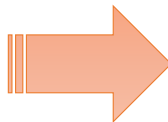
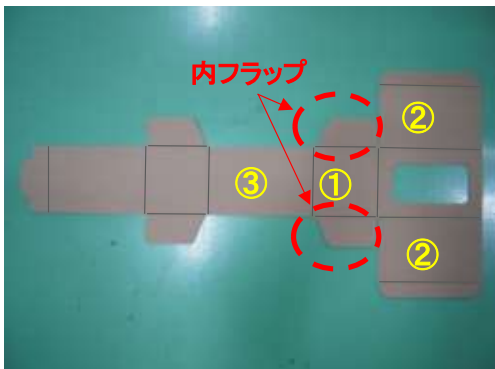


なか はこ かん せい ず  
中 箱 完 成 図

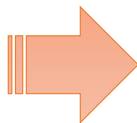


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります  
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

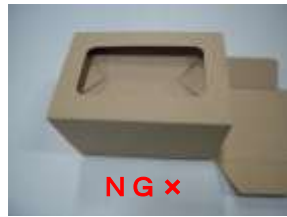
6. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り  
その後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



7. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、  
③の部分を下に向きを変える。



8. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。  
 その際、中箱の穴から小箱の底が見えないように  
 小箱の向きに注意する。



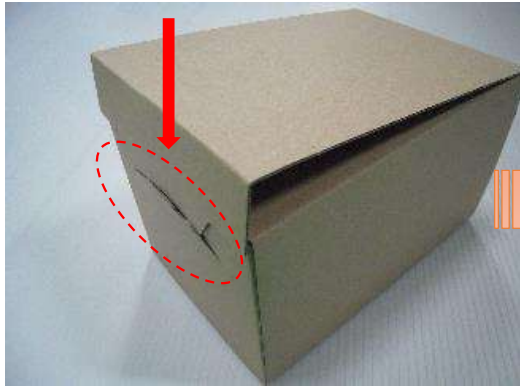
9. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中にお  
 折り込む。



10. 中箱の天面を本体に向かって折る。



- さいご てんめんせんたん さしこみぶ ほんたい  
11. 最後に天面先端の差込部を本体の  
きれ込み部に挿入し完成。





【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・  
外箱の組立・セットアップ梱包（2）

化粧箱身展開図

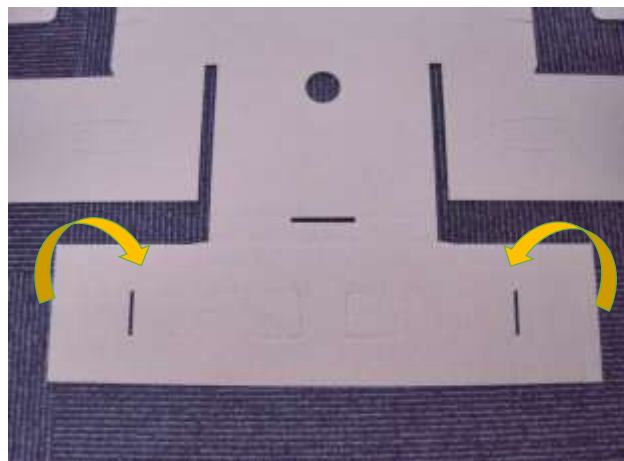
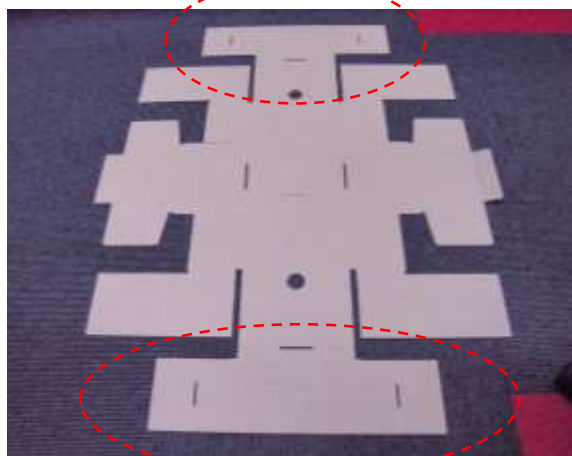


化粧箱身完成図

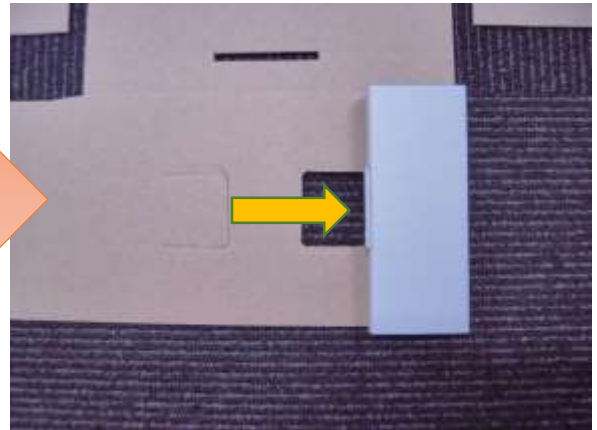
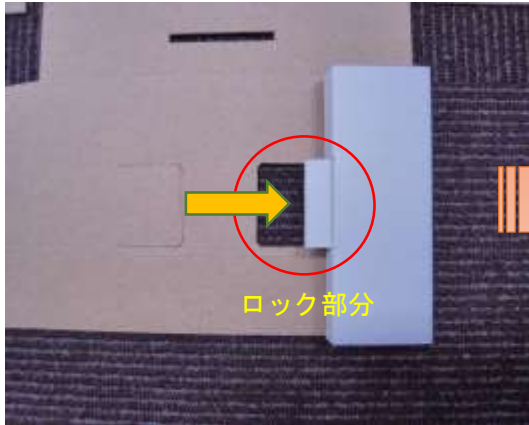


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります  
 ※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

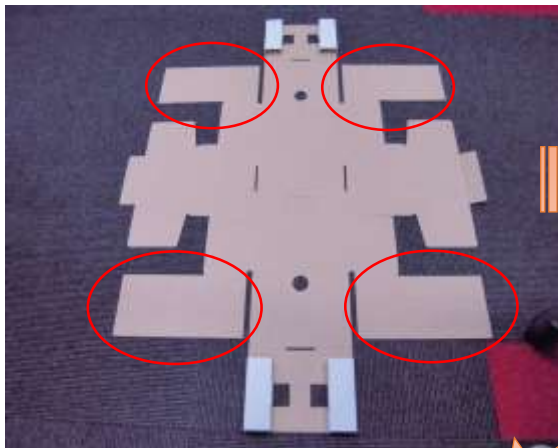
1. はじめに丸印の部分から折ります。  
 端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ  
 折る。



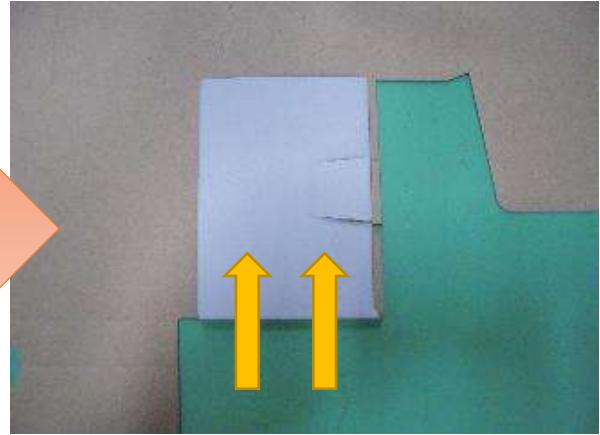
2. 折った部分の穴に、ロック部を<sup>お</sup>下<sup>ぶ</sup>から<sup>ぶ</sup>立ち<sup>した</sup>上げ<sup>た</sup>差し<sup>あ</sup>込<sup>さ</sup>め<sup>こ</sup>む。  
これを<sup>けい</sup>計<sup>しよ</sup>4<sup>どう</sup>か<sup>よう</sup>所<sup>お</sup>、同<sup>お</sup>様に<sup>お</sup>折<sup>お</sup>る。



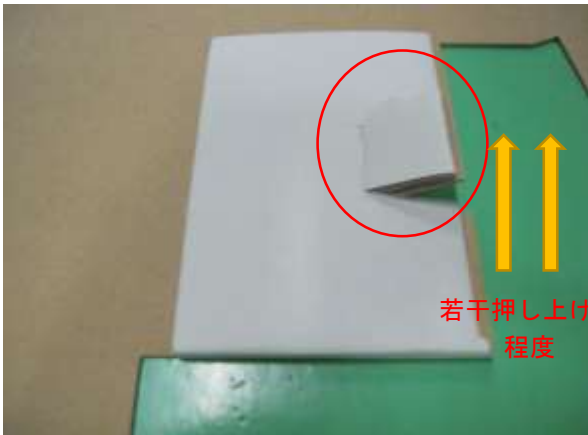
3. 丸印の部分を<sup>まる</sup>端<sup>じる</sup>から<sup>し</sup>罫<sup>ぶ</sup>線<sup>ん</sup>に<sup>は</sup>合<sup>し</sup>わせ<sup>あ</sup>内<sup>う</sup>側<sup>ち</sup>に<sup>わ</sup>お<sup>が</sup>折<sup>わ</sup>る。



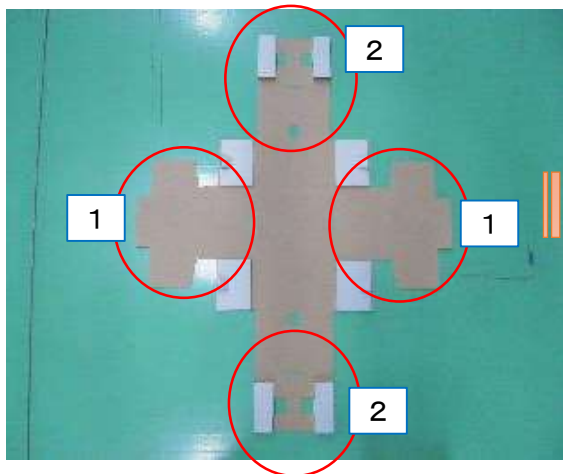
4. 本体中心ほんたいちゆうしんに向かって罫線むに合わせ折る。  
けいせん あ お



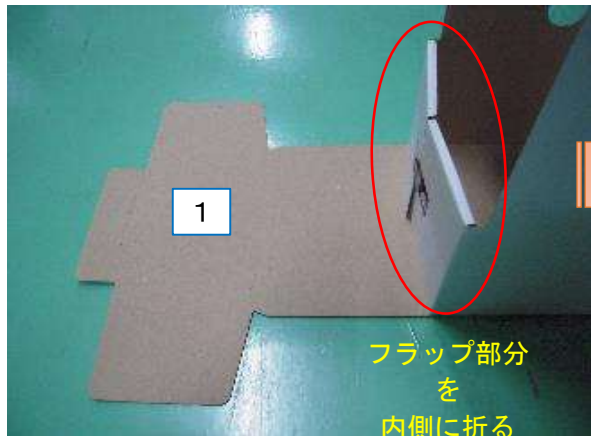
5. ロック部分ぶぶんを下したから押し上げロックする。  
かくぶ けい しょうよう お  
これを各部、計4か所同様に折る。



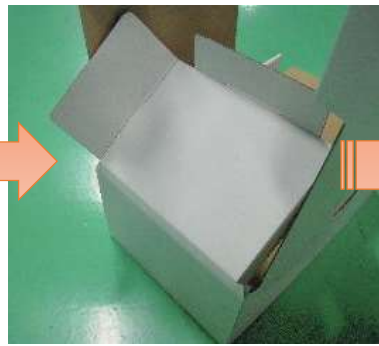
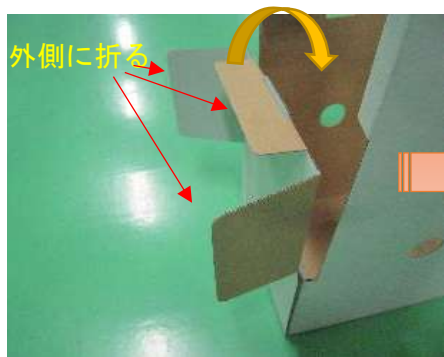
6. 2の部分ぶぶんを立ち上げる。  
た あ



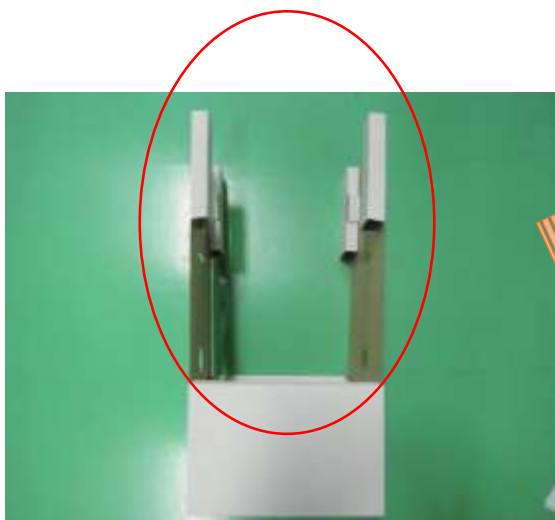
7. フラップ部分を内側に折り、1の部分を  
立ち上げる。



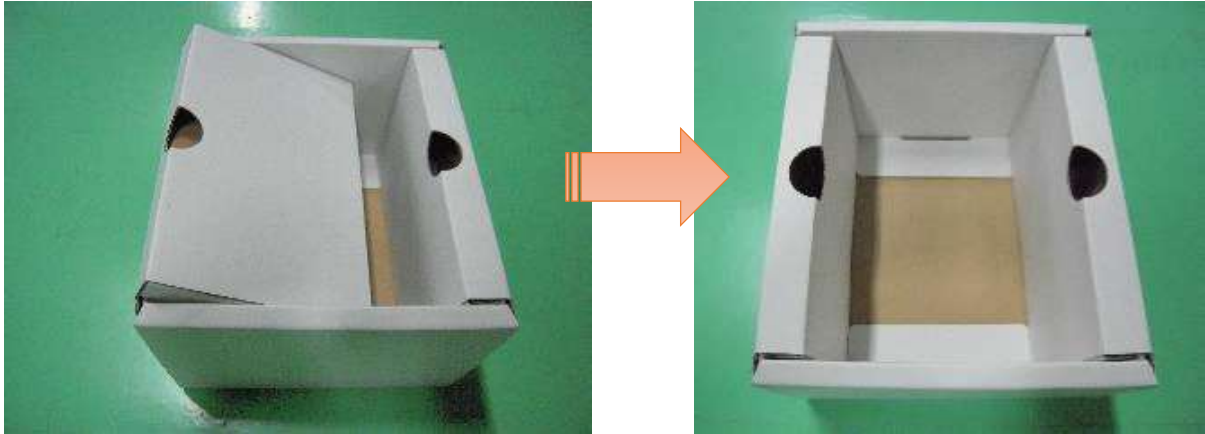
8. 1の部分の先端を外側に3か所折り、  
本体内側に折り込む。反対側も同様に折る。



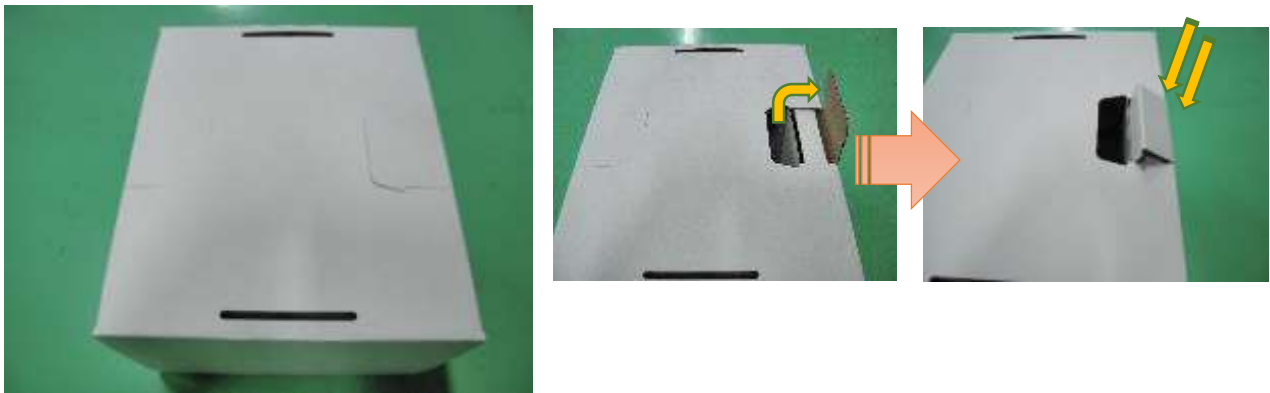
9. 2の端の部分から罫線に合わせ折り、  
額の部分が平らになるまで中に折り込む。



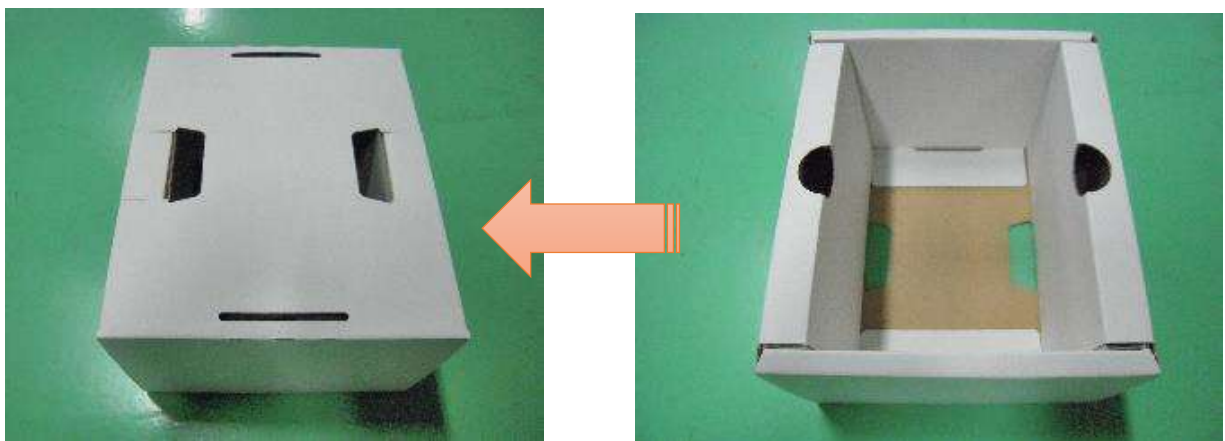
10. 反対側も同様に折る。  
はんたいがわ どうよう お



11. 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から  
押し出し、2の穴に挿入する。  
うら した がわ うえ お だ あな そうにゆう  
反対側も同様に穴に挿入する。  
はんたいがわ どうよう あな そうにゆう

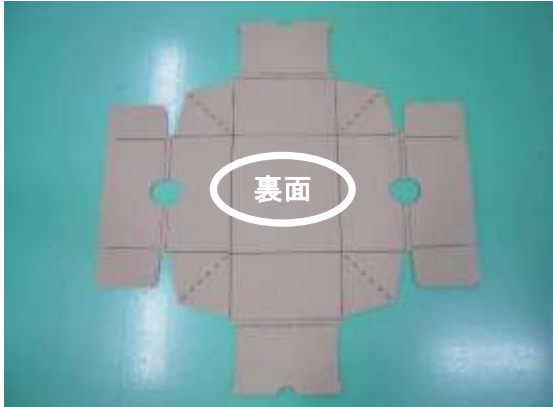


12. 2か所のロックが出来たら、底部を下に  
向きを変え完成。  
しよ 2か所 の ロック が 出来たら、 底部 を 下に 向き を 変え 完成。



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・  
外箱の組立・セットアップ梱包（3）

化粧箱蓋展開図

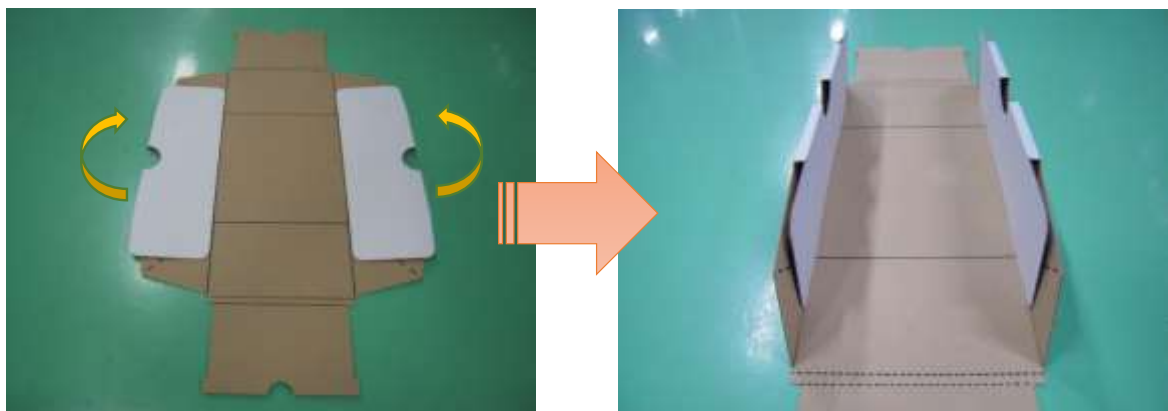


化粧箱蓋完成図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります  
 ※競技材料はカットのみの材料です。そのため層取り作業が必要となります

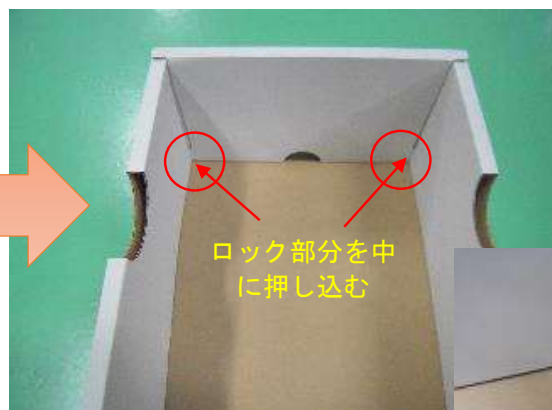
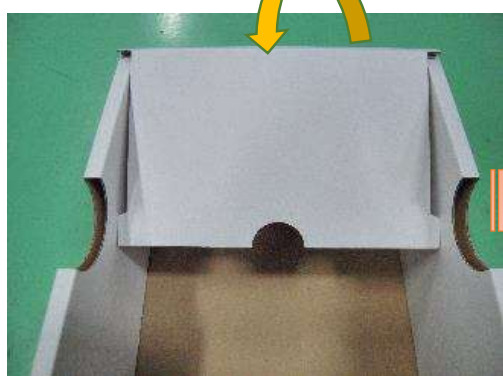
1. 額部分を内側に折り、額部分全体を立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。  
 その後、外側フラップのミシン目を  
 内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を  
 中に押し込む。



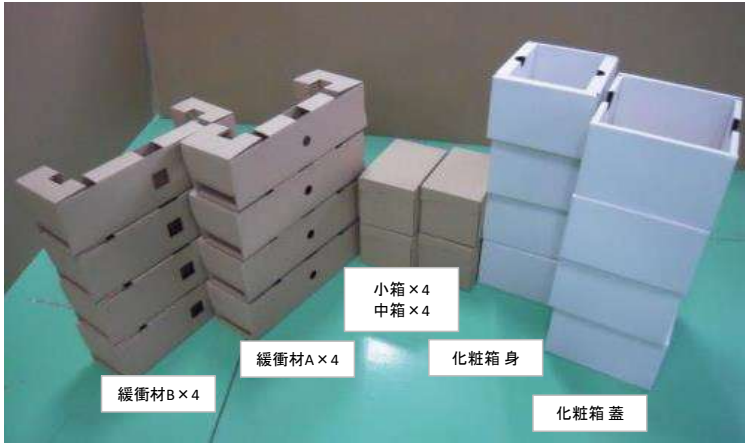
4. 反対側も同様に折り完成。  
はんたいがわ どうよう お かんせい





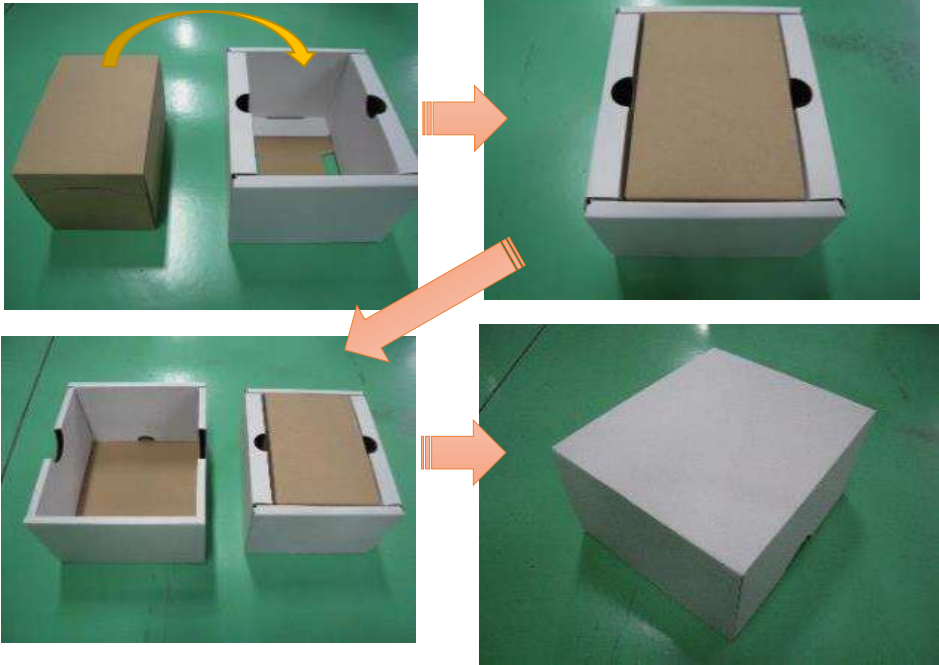
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・  
外箱の組立・セットアップ梱包（4）

梱包部品一覧



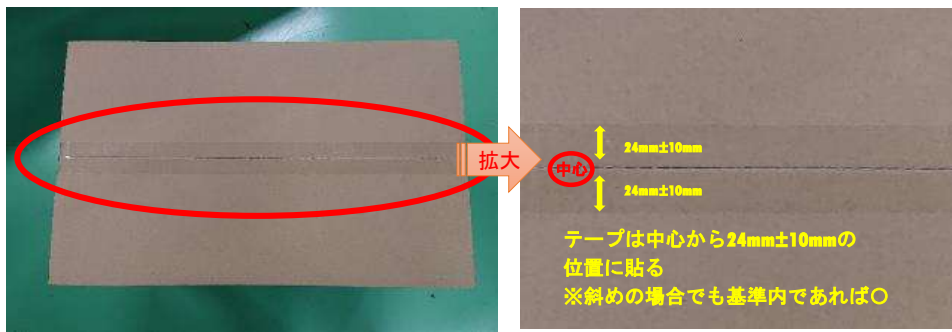
※上記部品を外箱にセットアップし梱包します  
※緩衝材は紐で結束された状態で配布され競技中に紐を解き使用します

1. 化粧箱身に小箱が入った中箱を  
入れ、蓋をする。これを4ケース作成する。

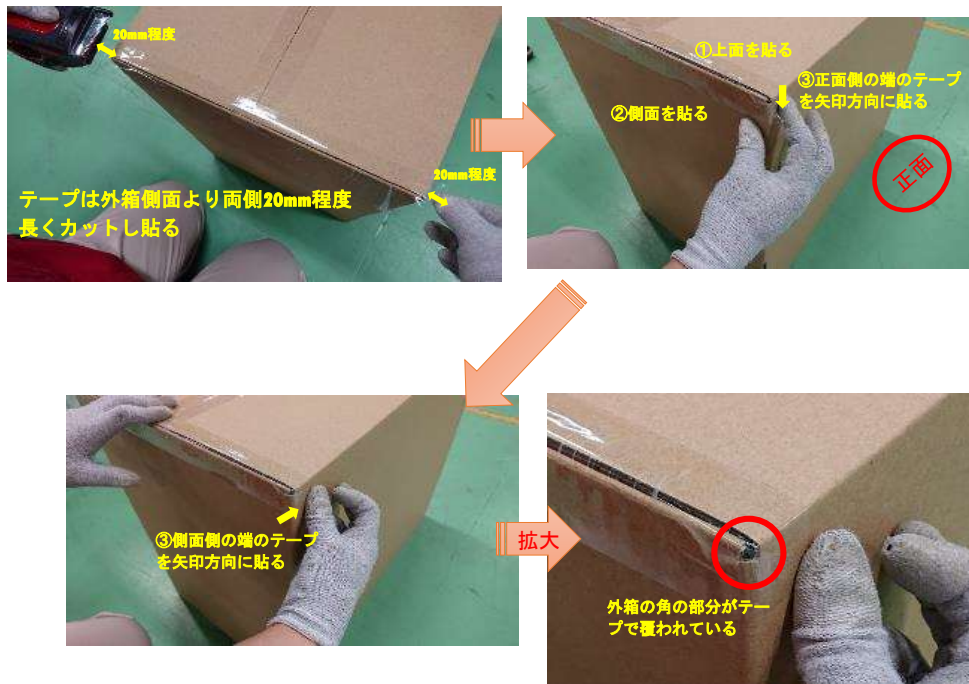


2. 外箱を組み立て底部を包装テープで貼り封をする。

① 外箱の底部を組み立て、中央部を包装テープで貼り封をする

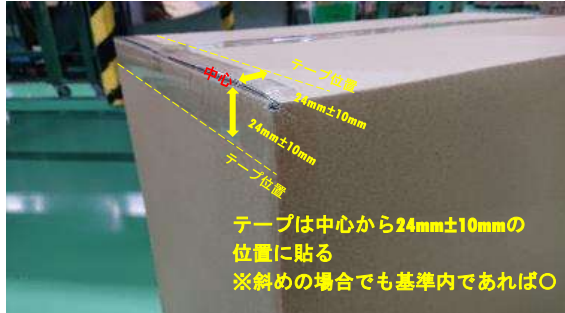
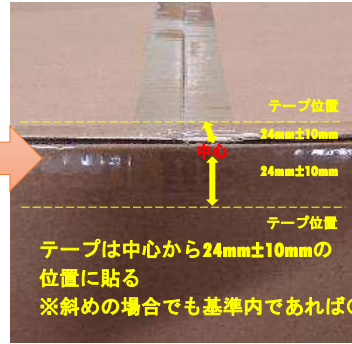


② 外箱の側面側を包装テープで貼る





拡大



3. 底部を封をした外箱の中に緩衝材を○または口が外側になるように各2ヶずつ設置し、化粧箱を入れる。



4. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ設置する。



5. 外箱の上部を折り敷き紙の上に置く

**※上部はテープを貼りません**



※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙からはみ出ないように置く事  
※敷き紙には製品以外の物を置く事は出来ません